

川崎スポーツ



11月29日(木)30日(金)12月1日(土)

日本盛生原酒ボトル缶杯・東京中日スポーツ杯争奪戦

FII

決め脚鋭い太刀川がV候補

11月29日からの川崎競輪F2は日本盛生原酒ボトル缶杯として行われるナイター開催。1、2班戦、チャレンジャー共に東西全国各地からの選手が参加する。

東日本の中心には太刀川一成(千葉100期)で、直線長いこのバンクでは鋭い差が生きてきそう。同じく南関東地区では地元に加藤健(神奈川107期)、久保将史(神奈川95期)、能代谷元(神奈川111期)らも優勝狙い地元で奮起しそうだ。来期からS級の佐々木健司(青森76期)らの北日本勢、目標不在でも十分に戦える古川尚耶(栃木92期)や藤原憲征(新潟85期)らの関東勢は展開ひとつか。遠征勢には九州の大ベテラン加倉正義(福岡68期)を筆頭に、経験豊富な機動型の篠原龍馬(高知89期)、タテ脚に磨きがかかる高橋清太郎(岡山97期)らが揃い、タツシ鋭いルーキー森川康輔(岐阜111期)も優勝狙える実力。

チャレンジ戦はルーキーの4名が中心となり激突。佐々木堅次(福島113期)、小林稜武(千葉113期)、八嶋稔真(北海道113期)、藤井将(広島113期)らに注目したい。

A級主力選手

太刀川 一成 千葉100期



追い込みでスタイルを変えた太刀川が充実している。一度は選手への道を諦めてイタリアンシフトとして働いていた経歴を持つが、再び選手への道を目指す。2011年に30歳を過ぎてからデビューした。既に自力選手として

S級を経験はしているが、降級後のA級戦からは追い込み宣言して新たにスタートを切った。まだまだ自力をアテにされる番組を組まれるために捲りの決まり手も残るが、追い込みが基本の戦いで今は既に30勝以上を挙げている。直線伸びるこのバンクなら、仮に目標が不発に終わっても最後は鋭い差し脚で伸びて来そうだし連日狙える選手の一入。来期はS級復帰が決まっておき、今期も失格しなければS昇級への競走得点には安全圏とみていい。自力で壁にぶつかった太刀川だが、追い込みとして更に上を目指す準備は着々と整っているようだ。

加倉 正義 福岡68期



「もう一度S級に戻って頑張りたいね」と語っていた加倉正義が各地で活躍を続けている。冒頭のコメントを以ての通り、今期はA級に陥落している。たいていのベテラン選手は脚力不足で降級して、そのままA級で定着してしまうケースが多い。しかしながら加倉は47歳とは思えぬタテ脚を発揮している。若手機動型との好連係を決めている。もちろん、熟練したハンドルさばきは言うまでも無く健在。12月の伊東で行われるレインボーカップファイナルへの出場も決まっておき、9名中の最年長としてS級特進を目指すことになる。かつてはGIで活躍した九州屈指の名マイカーだが、まだまだ上位に返り咲く意欲は十分。同世代の選手は次々とバンクを去るなかで、闘志溢れるレースを連発している。今シリーズも若手に負けない走り、優勝を狙う行くだろう。

森川 康輔 岐阜111期



兄の森川大輔(岐阜92期)に続いて昨年輪界入りした期待の新鋭森川康輔が予選の注目選手。アマチュア時代昇班を決めてもおかしくない。今後、競技の世界での活躍も期待される素質十分な21歳。脚質は兄と同様に素粋のスパリントラーのような。現状は積極的に攻めるレースを意図的に増やしているように感じるが、カマシやまくりの踏み出しは抜群で、仕掛け方ひとつで点数上位の選手は番手で踏み遅れてしまうこともありそう。レース向けの地脚を身に付けていけば、一気に点数もアップするはず。最近はずっとりと決勝に駒を進めて安定感が増してきた。ダントツに競走得点を持つ機動型が居ない今シリーズは、1、2班戦の初Vは十分に狙える。新鋭森川の大暴れに期待したい。



CR主力選手 佐々木 堅次 福島113期



ルーキー佐々木堅次が本格化の兆しを見せている。デビュー当初は力を出し切れず終ったレースが多かったが、徐々に確定板に載る機会が増えてきた。そして、9場所目にして嬉しい初優勝を決めた。しかも長走路の宇都宮バンクで逃げ切り、逃げ切り、捲りの3連勝で完全V。持ち味の「デビューしてはばらばらはいたい」という結果が出てきた。苦笑でも、スピードはまだまだだけれども、トップの素質はまだまだだよと語る。確かに、レースに慣れてきたのか、ここ数場所は力強いレースが増えた。まだまだ強くならず、雰囲気も垣間見える。完全優勝でキッカケを掴んだであろう佐々木の今後の快進撃に期待できそう。

小林 稜武 千葉113期



高校時代まで競泳に打ち込んでいた小林稜武だが、特別競輪でも多く戦い、記念Vも達成している名レーサーの父、小林昭二(33期)引退と同じく競輪選手への道を歩み始めた。小林の魅力は長く踏める地脚とみるが、展開に応じた順応力も高く、まくりの決まり手も少なくない。デビューしてこまめに10場所での30レースを消化したが、優勝こそ無いものの確定板を外したはずはわずか4回。全ての開催で優勝を果たしている。もともと派手な成績に期待できそうな感もあるが、これだけ大敗を避けてレースを連えているのは素質のひとつと言いたいだろう。今シリーズは同様に3人出場しており、勝ち上がり毎に激しい力勝負となりそうだが、流れに応じた走り、最終的に力を出し切るレースをすれば初優勝も十分に狙えそう。

URBAN BANK
かわさきケイリン

▲	注			×	○	◎	予想氏	
高橋清太郎	加藤健一	古川尚耶	森川康輔	佐々木健司	篠原龍馬	藤原憲征	加倉正義	太刀川一成
岡山	神奈川	栃木	岐阜	青森	高知	新潟	福岡	千葉
97	107	92	111	76	89	85	68	100
A1	A1	A1	A2	A1	A1	A1	A1	A1
8回	6回	7回	9回	1回	7回	7回	12回	15回
3回	1回	0回	5回	5回	0回	7回	5回	4回
4回	4回	7回	2回	4回	4回	3回	3回	1回
9回	16回	16回	8回	20回	10回	8回	7回	7回
0回	0回	0回	0回	0回	0回	1回	0回	0回
0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回
24回	27回	30回	24回	30回	21回	26回	27回	27回
33.30%	22.20%	23.30%	37.50%	3.30%	33.30%	26.90%	44.40%	55.50%
45.80%	25.90%	23.30%	58.30%	20.00%	33.30%	53.80%	62.90%	70.30%
62.50%	40.70%	46.60%	66.60%	33.30%	52.30%	65.30%	74.00%	74.00%
0回	10回	0回	6回	0回	8回	0回	0回	0回
0回	7回	0回	14回	0回	8回	0回	0回	0回
93.29	90.11	91.70	89.50	91.16	91.85	94.04	95.96	96.25

決勝想定メンバー